

平成30年12月13日

平成30年第3回神奈川県議会定例会

建設・企業常任委員会報告資料

県 土 整 備 局 • 企 業 庁

目 次

I 「かながわグランドデザイン 第2期実施計画 点検報告書（素案）」について ······ 1

II 「かながわＳＤＧｓ取組方針（案）」について ······ 5

I 「かながわグランドデザイン 第2期実施計画 点検報告書（素案）」について

1 趣旨

平成27年7月に「かながわグランドデザイン 第2期実施計画」（以下「第2期実施計画」という。）を策定し、計画を推進してきたが、30年度は「第2期実施計画」の計画期間の最終年度となる。

政策のマネジメント・サイクルでは、計画の最終年度において、政策全般について点検を行うこととしている。

また、「かながわグランドデザイン 基本構想」（以下「基本構想」という。）についても、状況の変化に応じて総合的に点検を行うこととしている。

そこで、「基本構想」及び「第2期実施計画」の点検を行い、神奈川県総合計画審議会の審議を経て、その点検結果について、県民との情報共有を図るため、「かながわグランドデザイン 第2期実施計画 点検報告書（素案）」（以下「点検報告書（素案）」という。）を作成する。

2 経緯

- 平成30年6月開催の神奈川県総合計画審議会で、「『第2期実施計画』点検基本方針」を審議、了承された。
- 平成30年11月開催の神奈川県総合計画審議会で、「点検報告書（素案）」を審議、了承された。

3 「点検報告書（素案）」の概要

(1) 「基本構想」の点検

「基本構想」とりまとめ以降の社会環境の変化を、客観的な統計や指標により把握したところ、少子化、高齢化や人口動向（別紙のとおり）などに関し、とりまとめ時に整理した社会環境の変化の傾向が継続しており、引き続き基本目標に向けた取組みを進めていく必要がある。

(2) 「第2期実施計画」の点検

ア プロジェクトの点検

23のプロジェクトごとに、次のとおり点検を行った。

- 「総合分析」として、プロジェクトのねらいに向けた取組みの全体像を整理した。

- ・ 「数値目標の達成状況」として、計画期間4年分の達成状況を示すとともに、その要因を分析した。また「主な取組みと成果」として、4年間の主な取組みと成果を明らかにした。
- ・ 「プロジェクトをとりまく状況」として、プロジェクトに関連する社会環境の変化を整理し、こうした社会環境の変化などを踏まえ、今後検討していくべき課題や方向性について、「今後に向けた検討事項」として整理した。

イ 主要施策の点検

政策分野別、地域別に4年間の取組状況を整理し、特に地域別については実施した主な事業箇所を地図上に示した。

ウ SDGsを座標軸とした検証

県の施策がSDGsとどのように関連しているかを把握するため、主要施策とSDGsの関係を整理した。

4 公表

平成30年12月から点検報告書（素案）を公表、県民の意見を募集し、寄せられた意見等を点検報告書のとりまとめの参考にする。

点検報告書（素案）は、県のホームページで公表するとともに、県政情報センターや地域県政情報コーナーで閲覧できるようとする。

また、点検報告書（素案）の概要版として、プロジェクトの主な取組みなどを掲載したパンフレットを作成し、県政情報センター等で配布する。

5 今後の予定

平成30年12月下旬

～31年1月下旬 「点検報告書（素案）」について県民意見募集等を実施

平成31年2月 「第2期実施計画 点検報告書（案）」のとりまとめ
神奈川県総合計画審議会での審議

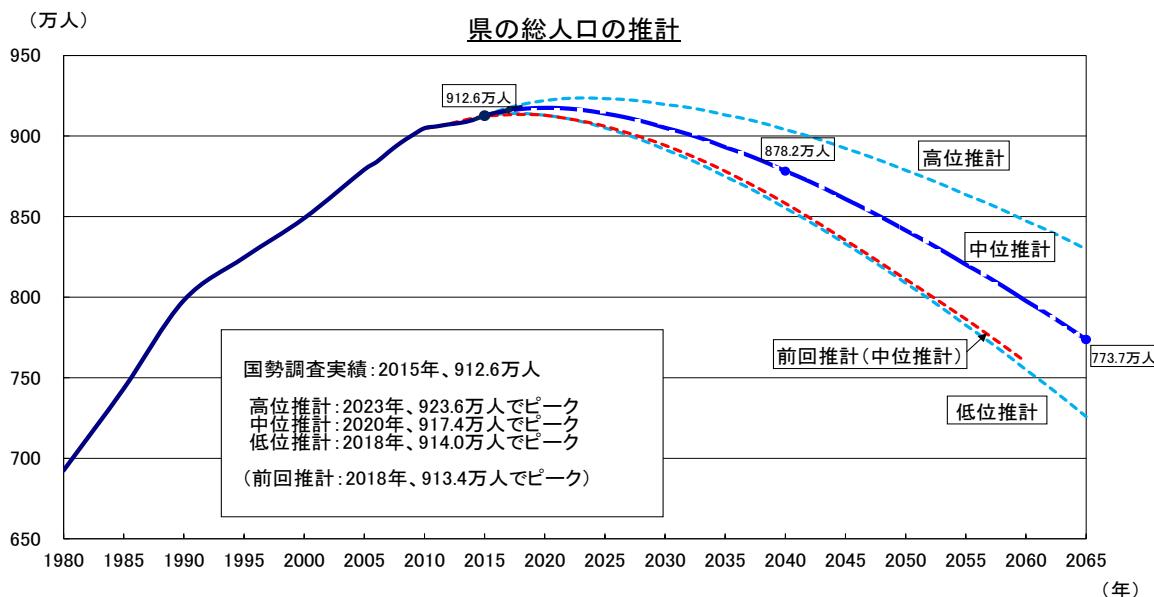
第1回県議会定例会に報告

3月 「第2期実施計画 点検報告書」公表

神奈川県の将来人口推計・将来世帯推計

1 神奈川の人口

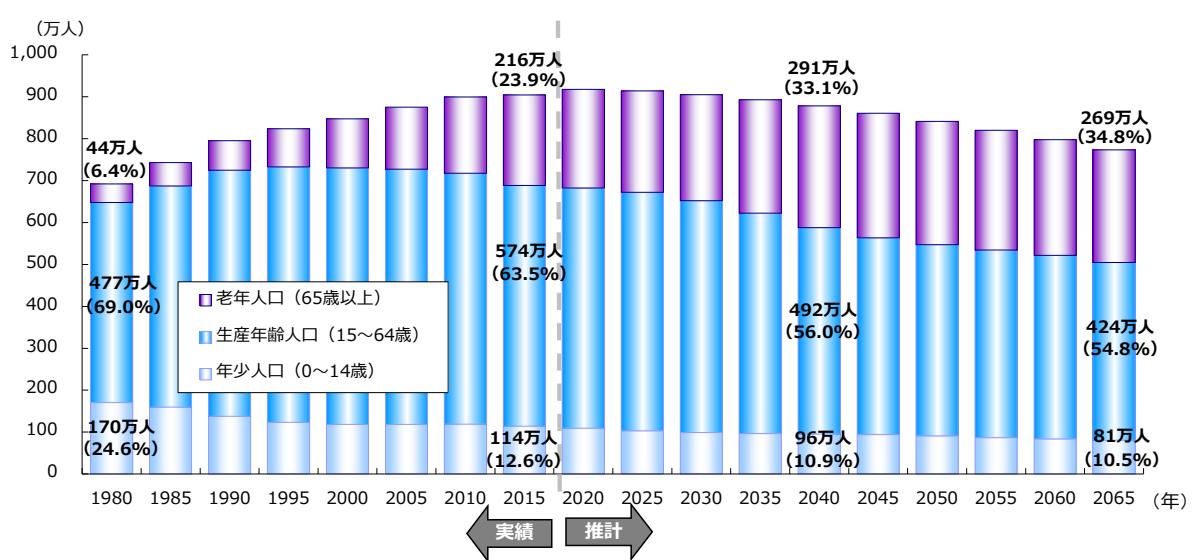
県では、2015年の国勢調査を踏まえ、高位、中位、低位の3つのケースを設定して、将来人口推計を行いました。将来人口は、高位と低位の範囲内で推移していくと予測しており、神奈川の総人口は、2020年頃にピークを迎える、その後、減少していくことが見込まれています。



2 高齢化の加速

本県の老人人口（65歳以上の人口）の割合は、2015年には23.9%でしたが、中位推計では、2040年には33.1%となり、2065年には34.8%になると見込まれています。

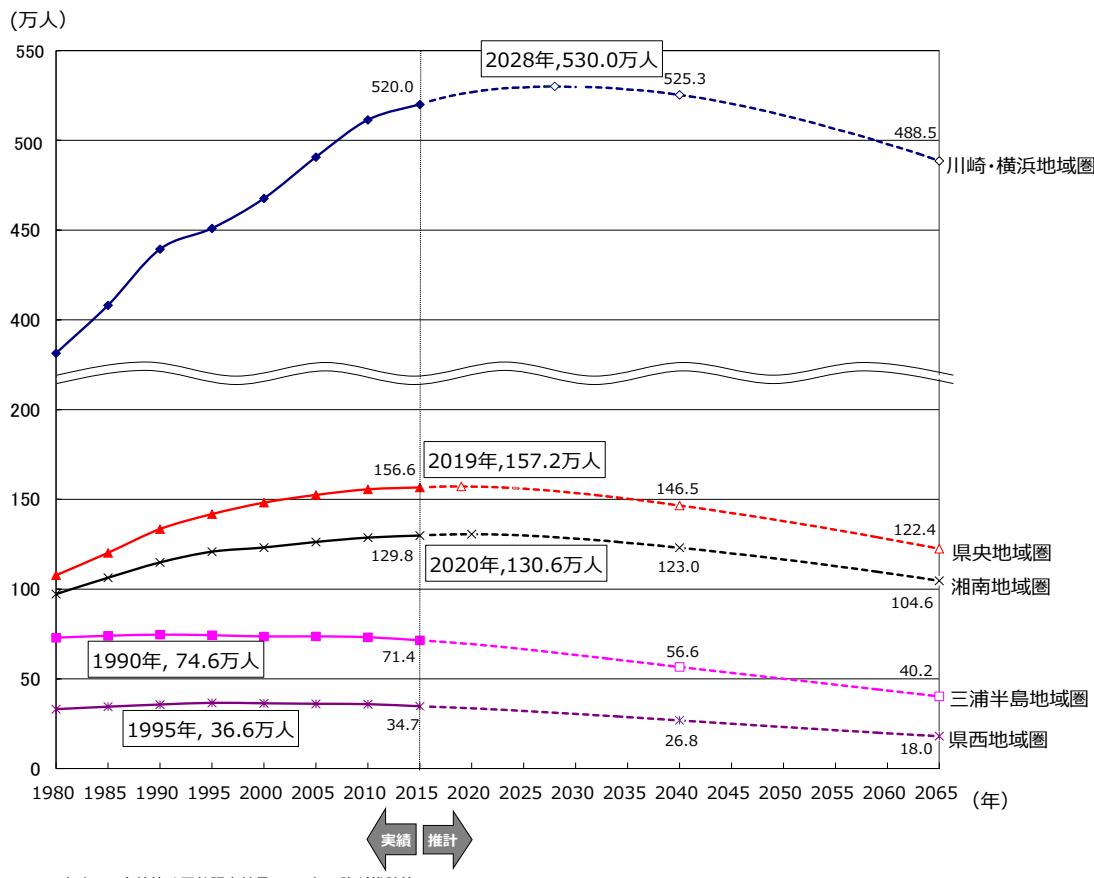
県の年齢3区分別の人口推計(中位推計)



3 地域の動向

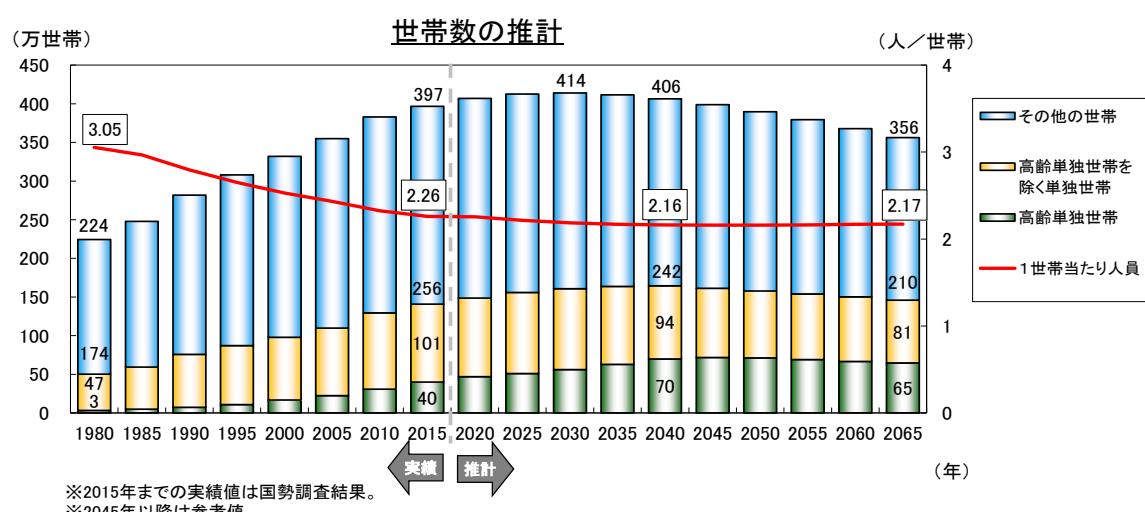
地域別の将来人口について、中位推計では、川崎・横浜地域圏は2028年、県央地域圏は2019年、湘南地域圏は2020年に人口のピークを迎え、その後、減少していくと見込まれており、三浦半島地域圏と県西地域圏では引き続き人口減少が続く見込みです。

地域政策圏別の人団推計(中位推計)



4 世帯の動向

本県の世帯数は増加が続いているが、将来人口推計の中位推計を用いて、将来世帯推計を行ったところ、2030年頃にピークを迎え、その後、減少していく見込みです。家族類型別に見ると、「単独世帯」などの増加が見込まれ、特に高齢者の「単独世帯」が大幅に増えていくことが予測されます。



II 「かながわSDGs取組方針（案）」について

1 策定の趣旨

本県としてSDGsの関連施策の展開例、役割及び推進するための取組みなどを示すことで、県、市町村、企業、大学、NPO、県民等のすべてのステークホルダー（関係者）と一体となってSDGsを推進することを目的に、取組方針を策定する。

2 経過

平成30年9月、10月 第3回県議会定例会の全常任委員会に、「（仮称）かながわSDGs取組方針（案）」を報告
10月～11月 県民意見募集を実施

3 県民意見募集

(1) 実施期間 平成30年10月25日～11月26日

(2) 意見数 11件

(3) 主な意見

- ・ SDGsを身近なものと捉えてもらうべく、先進県として率先して関連施策を示す姿勢はよいと思う。
- ・ SDGsを更に周知していくためには、イベントなどの広報活動に力を入れていくべき。
- ・ 具体例が記載されているのは良いが、そもそもSDGsが何か分かりにくい。
- ・ 地域を見守ることは、生活困窮だけでなく、子どもの虐待の早期発見・防止にもつながるので、追加してはどうか。
- ・ 意味がわからない言葉が多いので、注釈が欲しい。

4 前回からの変更点

- ・ 項目3の「②地域コミュニティ機能の再生・強化」に「児童虐待」及びSDGsの目標16のアイコンを追加
- ・ 県民の方により分かりやすい内容とするため、注釈が必要と考えられる用語に「解説」を追加

5 今後の予定

平成30年12月末 取組方針策定、公表